

平成 26 年 度

シラバス

5 年 次
歯科医療の展開



日本大学松戸歯学部

平成26年度 「歯科医療の展開」 シラバス

一般目標 (GIO)

臨床実習を効果的に行うために、臨床科目に関する基礎学力向上と診療参加型臨床実習に対する解決能力を養い、併せて各診療科における診療の流れと使用する器材・薬剤に関する基礎的知識を習得する。

到達目標 (SBOs)

- ① 各診療科における診療の流れと使用する器材・薬剤について説明できる。
- ② 先端歯科医学（口腔インプラント学、再生歯科治療学、顎口腔機能治療学）における治療内容と手技について説明できる。
- ③ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能について説明できる。
- ④ 歯科疾患に関する病因、病態および主要症候について説明できる。
- ⑤ 歯科疾患の確定診断に必要な診察、検査について説明できる。
- ⑥ 歯科疾患の治療法について説明できる。
- ⑦ 主訴・症状・徴候から正しい処置方針を立案できる。

講義および試験実施要項

I. 講義実施要項

期 間：平成26年4月2日～9月29日

時 間：午前8時40分～9時30分（試験時間は日程表に記載する）

会 場：401教室

講 義：以下のテーマより8つのユニットから構成される。

ユニット1：診療情報収集と処置	オーガナイザー：小林 平
ユニット2：先端歯科医学	オーガナイザー：村上 洋
ユニット3：成長・発育	オーガナイザー：清水 武彦
ユニット4：加齢と歯の欠損	オーガナイザー：飯島 守雄
ユニット5：齲蝕と硬組織欠損	オーガナイザー：田中 孝明
ユニット6：炎 症	オーガナイザー：高井 英樹
ユニット7：嚢胞・腫瘍	オーガナイザー：西村 均
ユニット8：保健医療総論と健康管理	オーガナイザー：有川 量崇

講義内容：

ユニット1：臨床実習開始に当たり患者情報の収集と各種検査法、各診療科における診療の流れおよび使用する器材・薬剤について講義する。

ユニット2：先端歯科医学として口腔インプラント学、再生歯科治療学、顎口腔機能治療学における治療の内容と手技について講義を行う。

ユニット3～7：各ユニットはテーマに基づいて①正常構造と機能→②病因、病態→③診察、

検査法→④治療法を学び、さらに臨床における主訴・症状・徴候から適切な診断と処置方針の立案について講義を行う。

ユニット8：国家試験出題基準における歯科医学総論、(Ⅰ)保健医療総論と(Ⅱ)健康管理・増進と予防についての講義を行う。

II. 平常試験実施要項

- ① 各ユニット終了後に平常試験①～⑦を実施する。更に全ユニット終了後に平常試験⑧（まとめ試験）を実施する。
- ② 試験時間は、平常試験①～⑦は8：40～9：40（60分）、平常試験⑧は8：40～10：40（120分）とする。401教室で行う。
- ③ 試験問題は、以下のようにする。
 - ・平常試験①～⑦は筆記試験とする。ただし、保健医療総論と健康管理に関するMCQ問題10問を含む。
 - ・平常試験⑧は、ユニット2～8の講義内容に関して、歯科医師国家試験過去問題の改変問題またはオリジナル問題（MCQ形式、計100問）とする。
 - ・平常試験⑨は、基礎系科目学力の維持・向上を目的に実施する。問題はMCQ形式とし、合計250問を3日間に分けて実施する。

III. 合格基準

平常試験の評価割合を以下のようにする。

平常試験①：診療情報収集と処置	5%
平常試験②：先端歯科医学	20%
平常試験③：成長・発育	10%
平常試験④：加齢と歯の欠損	10%
平常試験⑤：齲蝕と硬組織欠損	10%
平常試験⑥：炎症	10%
平常試験⑦：嚢胞・腫瘍	10%
平常試験⑧：まとめ試験	15%
平常試験⑨：基礎系レベルアップ	10%

以上により、全正答率が65%以上の者を「歯科医療の展開」の合格者とする。

IV. 再評価試験について

- ① 上記合格基準に満たない者については、再評価試験を実施する。
- ② 再評価試験は、ユニット2～8の講義内容に関する筆記試験問題とする。
- ③ 再評価試験の正答率が65%以上の者を「歯科医療の展開」の合格者とする。

V. 再評価試験不合格者は学習支援対象者とし、10月以降に実施される補習講義等を受講しなければならない。

平成26年度 5年次「歯科医療の展開」講義日程表

出席確認 8:35、講義時間 8:40~9:30、401教室					
月 日	曜	ユニット	テーマ	オーガナイザー	担当講座
4月2日	水	歯科医療の展開ガイダンス		平山 聡司	
4月3日	木	診療情報収集と処置 1	患者配当と問題志向型診療録 (POMR) 記載の流れ	小林 平	歯科総合診療学
4月4日	金	診療情報収集と処置 2	臨床検査の基礎、検査結果の読み方		歯科臨床検査医学
4月5日	土	診療情報収集と処置 3	口内法・パノラマエックス線検査の重要性と撮影の基本		放射線学
4月6日	日				
4月7日	月	診療情報収集と処置 4	修復治療の流れと使用する器材・薬剤	小林 平	保存修復学
4月8日	火	診療情報収集と処置 5	根管治療の流れと使用する器材・薬剤		歯内療法学
4月9日	水	診療情報収集と処置 6	歯周治療の流れ (検査・SPT・歯周外科) と使用する器具		歯周治療学
4月10日	木	診療情報収集と処置 7	有床義歯治療の流れと使用する器材		有床義歯補綴学
4月11日	金	診療情報収集と処置 8	歯冠補綴治療の流れと使用する器材		クラウンブリッジ補綴学
4月12日	土	診療情報収集と処置 9	顎関節症ならびに顎顔面領域の神経疾患に対する治療の流れと使用する器材		有床義歯補綴学
4月13日	日				
4月14日	月	平常試験⑨ーA (60分)		平山 聡司	
4月15日	火	診療情報収集と処置 10	全身麻酔の診療について	小林 平	歯科麻酔学
4月16日	水	診療情報収集と処置 11	外來手術の流れと使用する器材・薬剤		顎顔面外科学
4月17日	木	診療情報収集と処置 13	セファロ分析に基づく矯正治療の流れと使用する器材		歯科矯正学
4月18日	金	診療情報収集と処置 14	小児の扱い、小児歯科の特色と使用する特殊器具		小児歯科学
4月19日	土	診療情報収集と処置 15	障害者をとりまく環境		障害者歯科学
4月20日	日				
4月21日	月	平常試験⑩ (60分)		小林 平	
4月22日	火	先端歯科医学 1	インプラントの変遷と基本構造	村上 洋	口腔インプラント学
4月23日	水	先端歯科医学 2	インプラント材料と生体反応		口腔インプラント学
4月24日	木	先端歯科医学 3	インプラント周囲組織と歯周組織の構造の違い		口腔インプラント学
4月25日	金	先端歯科医学 4	インプラント治療の成功基準		口腔インプラント学
4月26日	土	先端歯科医学 5	インプラント治療順序		口腔インプラント学
4月27日	日				
4月28日	月	保健医療総論と健康管理 1	医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム・社会と歯科医療	有川 量崇	公衆予防歯科学
4月29日	火				
4月30日	水	先端歯科医学 6	インプラント治療のための検査	村上 洋	口腔インプラント学
5月1日	木	先端歯科医学 7	インプラント治療の診断		口腔インプラント学
5月2日	金	先端歯科医学 8	インプラント治療の診断		口腔インプラント学
5月3日	土				
5月4日	日				
5月5日	月				
5月6日	火				
5月7日	水	先端歯科医学 9	インプラント埋入手術	村上 洋	口腔インプラント学
5月8日	木	先端歯科医学 10	インプラント関連手術		口腔インプラント学
5月9日	金	先端歯科医学 11	インプラント補綴		口腔インプラント学
5月10日	土	先端歯科医学 12	インプラント補綴		口腔インプラント学
5月11日	日				
5月12日	月	保健医療総論と健康管理 2	予防と健康管理増進 (健康増進と疾病予防・地域保健・母子保健・学校保健)	有川 量崇	公衆予防歯科学
5月13日	火	先端歯科医学 13	メンテナンス	村上 洋	口腔インプラント学
5月14日	水	先端歯科医学 14	外科的合併症		口腔インプラント学
5月15日	木	先端歯科医学 15	補綴の合併症		口腔インプラント学
5月16日	金	先端歯科医学 16	インプラント周囲炎		口腔インプラント学
5月17日	土	先端歯科医学 17	再生医療の総論		再生歯科治療学
5月18日	日				

月 日	曜	ユニット	テーマ	オーガナイザー	担当講座	講義責任者
5月19日	月	平常試験②ー１（６０分）		村上 洋		
5月20日	火	先端歯科医学１８	難治性根尖性歯周炎への対応		再生歯科治療学	長濱 文雄
5月21日	水	先端歯科医学１９	移植・再植のサイエンス		再生歯科治療学	牧村 英樹
5月22日	木	先端歯科医学２０	再生医療における『細胞』		再生歯科治療学	牧村 英樹 (植松 千佳子)
5月23日	金	先端歯科医学２１	再生医療における『足場・成長因子』		再生歯科治療学	牧村 英樹 (植松 千佳子)
5月24日	土	先端歯科医学２２	歯科領域の再生医療のトピックス①		再生歯科治療学	菊地信之/牧村英樹
5月25日	日					
5月26日	月	保健医療総論と健康管理３	予防と健康管理増進（フッ化物応用）	有川 量崇	公衆予防歯科学	那須 郁夫 (田口 千恵子)
5月27日	火	先端歯科医学２３	歯科領域の再生医療のトピックス②	村上 洋	再生歯科治療学	和田 守康
5月28日	水	先端歯科医学２４	歯科領域の再生医療のトピックス③		再生歯科治療学	松江 美代子
5月29日	木	先端歯科医学２５	スポーツ歯学（概論）①		顎口腔機能治療学	川良 美佐雄
5月30日	金	先端歯科医学２６	スポーツ歯学（概論）②		顎口腔機能治療学	川良 美佐雄
5月31日	土	先端歯科医学２７	スポーツマウスガード製作法		顎口腔機能治療学	鈴木 浩司
6月1日	日					
6月2日	月	平常試験③ーＢ（１００分）		平山 聡司		
6月3日	火	先端歯科医学２８	スポーツ歯学ドーピング	村上 洋	顎口腔機能治療学	鈴木 浩司
6月4日	水	先端歯科医学２９	睡眠時無呼吸症候群概論		顎口腔機能治療学	鈴木 浩司
6月5日	木	先端歯科医学３０	睡眠時無呼吸症候群の歯科的対応		顎口腔機能治療学	川良 美佐雄 (渡邊 愛斗)
6月6日	金	先端歯科医学３１	ブラキシズム		顎口腔機能治療学	飯田 崇
6月7日	土	先端歯科医学３２	デジタルデンティストリー		顎口腔機能治療学	淺野 陸
6月8日	日					
6月9日	月	平常試験②ー２（６０分）		村上 洋		
6月10日	火	成長・発育１	咬合誘導	清水 武彦	小児歯科学	荒井 清司
6月11日	水	成長・発育２	小児の心身発達		小児歯科学	清水 邦彦
6月12日	木	成長・発育３	小児の歯・歯列の発育と特徴		小児歯科学	清水 邦彦
6月13日	金	成長・発育４	小児期の治療時に留意すべき疾患		小児歯科学	岡本 京
6月14日	土	成長・発育５	成長発育と評価		歯科矯正学	五関たけみ
6月15日	日					
6月16日	月	加齢と歯の欠損１	総義歯補綴学総論	飯島 守雄	有床義歯補綴学	河相 安彦
6月17日	火	成長・発育６	顎顔面頭蓋の成長発育	清水 武彦	歯科矯正学	五関たけみ
6月18日	水	成長・発育７	不正咬合の特徴（上顎前突）		歯科矯正学	五関たけみ
6月19日	木	成長・発育８	不正咬合の特徴（下顎前突）		歯科矯正学	五関たけみ
6月20日	金	成長・発育９	障害者への対応		障害者歯科学	野本 たかと (水野 貴誠)
6月21日	土	成長・発育１０	摂食・嚥下機能の発達		障害者歯科学	三田村 佐智代
6月22日	日					
6月23日	月	平常試験③（６０分）		清水 武彦		
6月24日	火	保健医療総論と健康管理４	予防と健康管理増進（保健指導・口腔清掃）	有川 量崇	公衆予防歯科学	那須 郁夫 (田口 千恵子)
6月25日	水	加齢と歯の欠損２	局部床義歯学総論	飯島 守雄	有床義歯補綴学	飯島 守雄
6月26日	木	加齢と歯の欠損３	総義歯装着後の管理		有床義歯補綴学	木本 統
6月27日	金	平常試験③ーＣ（１００分）		平山 聡司		
6月28日	土	保健医療総論と健康管理５	予防と健康管理増進（口臭）	有川 量崇	公衆予防歯科学	那須 郁夫 (田口 千恵子)
6月29日	日					
6月30日	月	保健医療総論と健康管理６	保健・医療・福祉・介護関係法規	有川 量崇	公衆予防歯科学	有川 量崇
7月1日	火	加齢と歯の欠損４	局部床義歯装着後の管理	飯島 守雄	有床義歯補綴学	大久保 昌和
7月2日	水	加齢と歯の欠損５	摂食嚥下障害とリハビリテーション		障害者歯科学	野本 たかと
7月3日	木	加齢と歯の欠損６	下顎運動と口腔機能検査		顎口腔機能治療学	淺野 陸

月 日	曜	ユニット	テーマ	オーガナイザー	担当講座	講義責任者
7月4日	金	加齢と歯の欠損 7	咀嚼の生理学・痛みの生理学と咀嚼系の機能障害	飯島 守雄	顎口腔機能治療学	小見山 道
7月5日	土	加齢と歯の欠損 8	高齢者の歯科治療		顎口腔機能治療学	飯田 崇
7月6日	日					
7月7日	月	平常試験④ (60分)		飯島 守雄		
7月8日	火	齲蝕と硬組織欠損 1	歯の正常機能と構造	田中 孝明	保存修復学	平山 聡司
7月9日	水	齲蝕と硬組織欠損 2	唾液・常在微生物叢・バイオフィルム		保存修復学	鈴木 英明
7月10日	木	齲蝕と硬組織欠損 3	歯の硬組織疾患の病因・病態と主要症候および検査		保存修復学	鈴木 英明
7月11日	金	齲蝕と硬組織欠損 4	診療用器具と成形修復材料		保存修復学	岡田 珠美
7月12日	土	齲蝕と硬組織欠損 5	診療用器具と補綴修復材料		クラウンブリッジ補綴学	小林 平
7月13日	日					
7月14日	月	齲蝕と硬組織欠損 6	歯科接着技術と接着材料	田中 孝明	クラウンブリッジ補綴学	會田 雅啓
7月15日	火	齲蝕と硬組織欠損 7	歯がしみる、歯が減ってきた、食べ物が挟まる		保存修復学	神谷 直孝
7月16日	水	齲蝕と硬組織欠損 8	歯の審美障害 1		クラウンブリッジ補綴学	小林 平
7月17日	木	齲蝕と硬組織欠損 9	歯の審美障害 2		保存修復学	神谷 直孝
7月18日	金	齲蝕と硬組織欠損 10	歯冠補綴装置の脱離 1		クラウンブリッジ補綴学	小林 平
7月19日	土	齲蝕と硬組織欠損 11	歯冠補綴装置の脱離 2		クラウンブリッジ補綴学	會田 雅啓 (後藤 治彦)
7月20日	日					
7月21日	月					
7月22日	火	平常試験⑤ (60分)		田中 孝明		
7月23日	水					
7月24日	木					
7月25日	金					
7月26日	土					
7月27日	日					
7月28日	月					
7月29日	火					
7月30日	水					
7月31日	木					
8月1日	金					
8月2日	土					
8月3日	日					
8月4日	月					
8月4日	火					
8月6日	水					
8月7日	木					
8月8日	金					
8月9日	土					
8月10日	日					
8月11日	月					
8月12日	火					
8月13日	水					
8月14日	木					
8月15日	金					
8月16日	土					
8月17日	日					
8月18日	月					
8月19日	火					
8月20日	水	炎症 1 口腔病理学	炎症の病理学、歯髓組織・歯周組織・顎骨の正常構造	高井 英樹	口腔病理学	宇都宮 忠彦
8月21日	木	炎症 2 歯内療法学	歯髓炎・根尖性歯周炎の分類・診断		歯内療法学	辻本 恭久
8月22日	金	炎症 3 歯周治療学	歯周疾患（主に歯肉炎・歯周炎）の分類・診断		歯周治療学	高井 英樹
8月23日	土					
8月24日	日					
8月25日	月	炎症 4 口腔外科	骨髄炎の分類・診断	高井 英樹	顎顔面外科学	伊藤 耕
8月26日	火	炎症 5 歯周治療学	歯周疾患（主に歯肉炎・歯周炎）の分類・診断		歯周治療学	高井 英樹
8月27日	水	炎症 6 歯内療法学	歯髓炎・根尖性歯周炎の治療の基礎		歯内療法学	辻本 恭久
8月28日	木	炎症 7 口腔外科	骨髄炎の病期・症状と治療の基礎		顎顔面外科学	伊藤 耕
8月29日	金	炎症 8 口腔外科	骨折の症状と治療の基礎		顎顔面外科学	伊藤 耕
8月30日	土					
8月31日	日					
9月1日	月	平常試験⑥ (60分)		高井 英樹		

月 日	曜	ユニット	テーマ	オーガナイザー	担当講座	講義責任者
9月2日	火	嚢胞・腫瘍 1	嚢胞の分類	西村 均	口腔病理学	宇都宮 忠彦
9月3日	水	嚢胞・腫瘍 2	顎骨の歯源性嚢胞		口腔外科学	西村 均
9月4日	木	嚢胞・腫瘍 3	顎骨の非歯源性嚢胞		口腔外科学	西村 均
9月5日	金	嚢胞・腫瘍 4	軟組織の嚢胞		口腔外科学	西村 均
9月6日	土	嚢胞・腫瘍 5	腫瘍の分類		口腔病理学	久山 佳代
9月7日	日					
9月8日	月	保健医療総論と健康管理 7	社会保障制度	有川 量崇	公衆予防歯科学	有川 量崇
9月9日	火	保健医療総論と健康管理 8	医療保険制度		公衆予防歯科学	有川 量崇
9月10日	水	嚢胞・腫瘍 6	歯源性腫瘍の診断と治療	西村 均	顎顔面外科学	伊藤 耕
9月11日	木	嚢胞・腫瘍 7	非歯源性腫瘍の診断と治療		顎顔面外科学	伊藤 耕
9月12日	金	嚢胞・腫瘍 8	唾液腺腫瘍の診断と治療		顎顔面外科学	伊藤 耕
9月13日	土	自学自習				
9月14日	日					
9月15日	月					
9月16日	火	平常試験㉞ (60分)		西村 均		
9月17日	水	自学自習				
9月18日	木	自学自習				
9月19日	金	自学自習				
9月20日	土	自学自習				
9月21日	日					
9月22日	月	平常試験㉟ (120分)		平山 聡司		
9月23日	火					
9月24日	水	自学自習				
9月25日	木	自学自習				
9月26日	金	自学自習				
9月27日	土	自学自習				
9月28日	日					
9月29日	月	再評価試験 (60分)		平山 聡司		
9月30日	火	歯科医学総合 講義 5 ガイダンス		平山 聡司		

講義日	時限	国試出題基準
04月03日	1時限	必修-1-イ-a 必修-1-イ-a

担当者 内田 貴之

テーマ：

POSに基づく問題指向型診療録の記載

授業の一般目標：

患者が抱える健康に関する問題を解決するために、POSに基づく問題指向型診療録（POMR）の記載方法を習得する。

到達目標 S B O s：

- 1) 当院における診療システムについて説明できる。
- 2) POMRの意義について説明できる。
- 3) POMRの構成を説明できる。
- 4) POMRの記載方法を説明できる。
- 5) 問題解決過程のステップを説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月04日	1時限	必修-1 1-ウ-b 必修-1 1-ウ-c 総論-IX-3-イ 総論-IX-3-ウ 総論-IX-3-エ

担当者 市村 真奈

テーマ：

臨床検査の基礎、検査結果の読み方

授業の一般目標：

全身状態を有する患者の歯科治療を安全に行うために、臨床検査の基礎、検査値および検査結果の読み方を理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) 臨床検査の意義を述べられる。
- 2) 全身状態の診断に必要な検査項目と意義を述べられる。
- 3) 各臨床検査の基準値を知り、重要な異常値の意味を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
04月05日	1時限	総論-IX-2-ケ

担当者 小椋 一朗

テーマ：

口内法・パノラマエックス線検査の重要性と撮影の基本

授業の一般目標：

歯・顎顔面領域の画像検査を適切に行うために、エックス線検査を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 口内法エックス線検査を説明できる。
- 2) パノラマエックス線検査を説明できる。
- 3) エックス線像の正常解剖を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月07日	1時限	必修-15-オ-a

担当者 森 俊幸

テーマ：

修復治療の流れと使用する器材、薬剤

授業の一般目標：

保存修復処置に用いる材料や器材を適切に取り扱えるようになるために、材料や器材の名称、使用方法、特徴について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 各種修復材料の名称、使用方法および特徴について説明できる。
- 2) 各種修復材料の使用上の注意点について理解する。
- 3) 切削器材の名称、使用方法および特徴について説明できる。
- 4) 修復処置前準備についての器具、使用方法および特徴を理解する。
- 5) 修復処置前準備注意点について理解する。

講義日	時限	国試出題基準
04月08日	1時限	各論-Ⅲ-6-オ 総論-Ⅸ-1-イ 総論-Ⅸ-1-ウ

担当者 岡部 達

テーマ：

根管治療の流れと使用する器材・薬剤

授業の一般目標：

根管治療の技術を習得するために、根管治療の術式および使用する器具・薬剤について理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) 根管治療の術式について説明できる。
- 2) 根管治療に必要な器具について説明できる。
- 3) 根管治療に必要な薬剤について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月09日	1時限	必修-15-オ-a

担当者 中山 洋平

テーマ：

歯周治療の流れ(検査・SPT・歯周外科)と使用する器具

授業の一般目標：

患者実習を行うために必要な歯周治療を実施するための知識を習得し、総合的に歯周治療の流れを理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) 歯周治療の流れを説明できる。
- 2) 歯周基本治療の項目を説明できる。
- 3) 歯周組織検査の項目を説明できる。
- 4) 歯周基本治療で用いる器具を説明できる。
- 5) 歯周外科治療で用いる器具を説明できる。
- 6) SPTについて理解する。

講義日	時限	国試出題基準
04月10日	1時限	各論-V-5-イ 各論-V-5-エ 各論-V-5-ス 各論-V-6-イ 各論-V-6-エ 各論-V-6-サ

担当者 河相 安彦、石井 智浩

テーマ：

有床義歯補綴学の治療ステップと必要な器材

授業の一般目標：

有床義歯治療時に必要な器材と治療介助ができるようになるために、治療の流れと使用する器材について理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) 有床義歯製作時の治療ステップを説明できる。
- 2) 有床義歯製作のための印象採得時に必要な器材について説明できる。
- 3) 有床義歯製作のための咬合採得時に必要な器材について説明できる。
- 4) 義歯調整時に必要な器材について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月11日	1時限	各論-V-4-ア 各論-V-4-ウ 各論-V-4-オ 各論-V-4-カ 各論-V-4-ク

担当者 小林 平

テーマ：

歯冠補綴治療の流れと使用する器材

授業の一般目標：

歯冠補綴治療時に必要な器材の準備と診療介助ができるようになるために、臨床実習で行う歯冠補綴治療の流れと使用する器材を理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) 根管形成に使用する器材を説明できる。
- 2) 支台築造法の種類と使用する器材を説明できる。
- 3) 歯肉圧排の方法と使用する器材を説明できる。
- 4) 支台歯形成に必要な器材を説明できる。
- 5) プロビジョナルレストレーション製作に必要な器材を説明できる。
- 6) 最終印象・咬合採得に使用する器材を説明できる。
- 7) 歯冠補綴装置の試適・調整に使用する器材を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
04月12日	1時限	総論-VIII-1-ア 総論-VIII-1-イ 総論-VIII-1-ウ 総論-VIII-1-オ

担当者 大久保 昌和

テーマ：

顎関節ならびに顎顔面領域の神経疾患に対する治療の流れと使用する器材

授業の一般目標：

非歯原性口腔顔面痛患者の診療プロセスを理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) 口腔顔面痛を説明できる。
- 2) 歯原性および非歯原性口腔顔面痛を説明できる。
- 3) 非歯原性口腔顔面痛患者の診療プロセスを説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月15日	1時限	総論-X-6-ウ 必修-15-コ-b

担当者 下坂 典立

テーマ：

全身麻酔の前診察について

授業の一般目標：

安全で適切な患者管理を行うために、全身麻酔法の実際、特に前診察、気道管理の重要性について理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) 全身麻酔前診察にあたって聴取すべき項目について説明することができる。
- 2) 気道確保の重要性について説明することができる。
- 3) 挿管困難の基準について説明することができる。

講義日	時限	国試出題基準
04月16日	1時限	必修-15-ス-a

担当者 伊藤 耕

テーマ：

粘膜切開、剥離、縫合、抜歯等の外来手術の流れと使用機材・薬剤について。手指消毒、術野の消毒について。

授業の一般目標：

口腔外科外来手術時に必要な器材の準備と治療介助ができるようになるために、外来手術の流れと使用する器材・薬剤について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 手指と術野の消毒について説明できる。
- 2) 抜歯に必要な器具の用法と基本手技を説明できる。
- 3) 粘膜の切開、剥離に必要な器具の用法を説明できる。
- 4) 縫合と止血に必要な器具の用法を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月17日	1時限	各論-II-8-イ 必修-15-ナ-a 総論-IX-2-サ 各論-II-8-ウ 各論-II-8-エ

担当者 齋藤 勝彦

テーマ：

セファロ分析に基づく矯正治療の流れと使用する器材

授業の一般目標：

適切な矯正治療を行うためにセファロ分析に基づく矯正治療の流れを理解し、使用する器材について修得する。

到達目標SBOs：

- 1) セファロ撮影の方法について説明できる。
- 2) セファロ分析の基準点・基準平面について説明できる。
- 3) 精密検査で行う項目を列挙し、それぞれの目的を説明できる。
- 4) 矯正治療に用いる器具・器材を列挙し、その使用目的について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
04月18日	1時限	総論-Ⅷ-2-イ

担当者 清水 邦彦

テーマ：

小児の対応、小児歯科の特色と使用器具

授業の一般目標：

小児への対応を適切に行うために、小児歯科の特色と使用する特殊器具について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 年齢ごとの小児への対応を説明できる。
- 2) 小児歯科の器具について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月19日	1時限	必修-2-ア-a 必修-2-ア-d 必修-2-ア-e 必修-2-ア-f 必修-2-ウ-f

担当者 伊藤 政之

テーマ：

障害者をとりまく環境

授業の一般目標：

スペシャルニーズのある人の歯科治療を行う際に知っておきたい関係法律や環境等の知識を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 1. 障害者基本法における障害者を説明できる。
- 2) 2. 障害者の地域生活を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
04月22日	1時限	総論-XI-16-A

担当者 加藤 仁夫

テーマ：

インプラントの変遷と基本構造

授業の一般目標：

将来、欠損補綴の回復方法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標SBOs：

1)インプラントの歴史を述べる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月23日	1時限	各論-V-8-A 総論-XI-16-A 総論-XI-16-I

担当者 井下田 繁子

テーマ：

インプラント材料と生体反応

授業の一般目標：

将来、欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標SBOs：

- 1)インプラント材料と生体反応について説明する。
- 2)インプラント表面と上皮・結合組織・骨組織の反応について説明できる。
- 3)オッセオインテグレーションの概念について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
04月24日	1時限	総論-VII-2-イ

担当者 井下田 繁子

テーマ：

インプラント周囲組織と歯周組織の構造の違い

授業の一般目標：

将来、欠補綴の回復法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標 S B O s：

- 1)インプラント周囲組織と歯周組織の構造の違いを説明する。
- 2)インプラントの生理学的特徴を説明できる。
- 3)インプラントと天然歯の感覚受容の相違について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月25日	1時限	各論-V-8-ウ

担当者 井下田 繁子

テーマ：

インプラント治療の成功基準

授業の一般目標：

将来、欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標 S B O s：

- 1)インプラント治療の適応と禁忌について説明する。
- 2)インプラント治療の成功基準について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
04月26日	1時限	各論-V-8-ウ

担当者 井下田 繁子

テーマ：

インプラント治療順序

授業の一般目標：

将来、欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標 S B O s：

1)インプラント治療計画にのっとりた治療の手順について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
04月28日	1時限	必修-2-ウ-a 必修-1-ア-a 必修-2-ウ-b 必修-2-ウ-c 必修-2-ウ-f

担当者 有川 量崇

テーマ：

医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム・社会と歯科医療

授業の一般目標：

歯科医師として必要な法・制度を学び、医療人として社会における役割と責任について理解し、修得できる。

到達目標 S B O s：

- 1)患者の権利を説明できる。
- 2)医の倫理と生命倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。
- 3)歯科医師の法的義務を列挙できる。
- 4)保健・医療・福祉の連携を理解し、歯科医師の役割を説明できる。
- 5)歯科医師法を概説できる。
- 6)歯科衛生士法と歯科技工士法を概説できる。

講義日	時限	国試出題基準
04月30日	1時限	総論-IX-3-イ

担当者 村上 洋

テーマ：

インプラント治療のための検査

授業の一般目標：

将来、欠損補綴の回復方法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標SBOs：

1)インプラント治療に必要な検査を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月01日	1時限	総論-IX-1-カ

担当者 村上 洋

テーマ：

インプラント治療の診断

授業の一般目標：

将来、欠損補綴の回復方法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標SBOs：

1)インプラント治療に必要な診査を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
05月02日	1時限	総論-X-1-ア

担当者 村上 洋

テーマ：

インプラント治療の診断

授業の一般目標：

将来、欠損補綴の回復方法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標SBOs：

1)インプラント治療計画を立案できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月07日	1時限	各論-V-8-オ

担当者 玉木 大之

テーマ：

インプラント埋入手術

授業の一般目標：

将来、欠損補綴の回復方法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標SBOs：

- 1)滅菌と消毒について説明できる。
- 2)全身管理について説明できる。
- 3)外科術式（1回法、2回法）を説明できる。
- 4)インプラント治療に必要な局所解剖を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
05月08日	1時限	各論-V-8-オ

担当者 玉木 大之

テーマ：

インプラント関連手術

授業の一般目標：

将来、欠損補綴の回復方法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標 S B O s：

1)インプラント関連術式の種類とその特徴を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月09日	1時限	各論-V-8-キ

担当者 村上 洋

テーマ：

インプラント補綴

授業の一般目標：

将来、欠損補綴の回復方法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標 S B O s：

1)インプラントの補綴術式を説明する。
2)インプラント治療に必要な機材を準備する。

講義日	時限	国試出題基準
05月10日	1時限	各論-V-8-ケ

担当者 村上 洋

テーマ：

インプラント補綴

授業の一般目標：

将来、欠損補綴の回復方法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標SBOs：

- 1)インプラントの補綴術式を説明する。
- 2)インプラント治療に必要な機材を準備する。

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月12日	1時限	必修-3-ア-a 必修-3-ア-b 必修-3-ア-c 必修-3-ア-d 必修-3-ア-e 必修-3-イ-a 必修-3-イ-b 必修-3-ウ-a

担当者 田口 千恵子

テーマ：

予防と健康管理増進（健康増進と疾病予防）

授業の一般目標：

健康の概念と健康増進，疾病予防，健康管理について理解する。

到達目標SBOs：

- 1)健康の概念について説明できる。
- 2)プライマリーヘルスケアについて説明できる。
- 3)ヘルスプロモーションについて説明できる。
- 4)第2次健康日本21について概説できる。
- 5)メタボリックシンドロームについて説明できる。
- 6)地域保健について説明できる。
- 7)母子保健について説明できる。
- 8)学校保健について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
05月13日	1時限	各論-V-8-シ

担当者 井下田 繁子

テーマ：

メンテナンス

授業の一般目標：

将来、欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標 S B O s：

- 1) インプラント治療後のメンテナンスについて説明できる。
- 2) インプラント周囲組織の管理について説明できる。
- 3) メンテナンスに必要な器材を選択し、説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月14日	1時限	各論-V-8-サ

担当者 加藤 仁夫

テーマ：

外科的合併症

授業の一般目標：

将来、欠損補綴の回復方法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標 S B O s：

- 1) 手術に関連する合併症を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
05月15日	1時限	各論-V-8-サ

担当者 加藤 仁夫

テーマ：

補綴の合併症

授業の一般目標：

将来、欠損補綴の回復方法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標 S B O s：

1) 補綴に関連する合併症を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月16日	1時限	各論-V-8-サ

担当者 加藤 仁夫

テーマ：

インプラント周囲炎

授業の一般目標：

将来、欠損補綴の回復方法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標 S B O s：

1) 手術に関連する合併症を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
05月17日	1時限	総論-X-2-キ

担当者 内山 敏一

テーマ：

再生医療総論

授業の一般目標：

今後の歯科医療に不可欠となる再生歯科医療を学ぶため必要な知識を習得する。

到達目標 S B O s：

- 1) 再生歯科医療について説明できる。
- 2) 再生歯科医療の特殊性について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月20日	1時限	各論-III-6-オ

担当者 長濱 文雄

テーマ：

難治性根尖性歯周炎への対応

授業の一般目標：

難治性根尖性歯周炎の原因、症状、診断、治療方法について説明できるようになるため知識を習得する。

到達目標 S B O s：

- 1) 難治性根尖性歯周炎の原因を説明できる。
- 2) 難治性根尖性歯周炎の症状を説明できる。
- 3) 難治性根尖性歯周炎の治療法を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
05月21日	1時限	各論-Ⅲ-6-シ

担当者 牧村 英樹

テーマ：

移植・再植のサイエンス

授業の一般目標：

難治性根尖性歯周炎に対応するために、自家歯牙移植、意図的再植術の術式、治癒過程について理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) 自家歯牙移植について説明することができる。
- 2) 意図的再植術について説明することができる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月22日	1時限	総論-XI-16-エ

担当者 牧村 英樹、植松 千佳子

テーマ：

再生医療における『細胞』

授業の一般目標：

再生医療における細胞について説明することができる。

到達目標 S B O s：

- 1) 再生医療における細胞の種類について説明することができる。
- 2) 再生医療における細胞の役割について説明することができる。

講義日	時限	国試出題基準
05月23日	1時限	総論-XI-16-エ

担当者 牧村 英樹、植松 千佳子

テーマ：

再生医療における『足場・成長因子』

授業の一般目標：

再生歯科医療を行うために、再生医療における足場・成長因子について説明することができる。

到達目標SBOs：

- 1) 再生歯科医療を行う為に、再生医療における足場・成長因子の種類について説明することができる。
- 2) 再生歯科医療を行う為に、再生医療における足場・成長因子の役割について説明することができる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月24日	1時限	必修-7-ウ-a

担当者 牧村 英樹、菊地 信之

テーマ：

歯科領域の再生医療のトピックス①

授業の一般目標：

歯科領域の再生医療のトピックスについて知ることができる。

到達目標SBOs：

- 1) 生体防御を利用した象牙質再生を理解できる。
- 2) 歯牙凍結保存について説明できる。
- 3) 再生医療の話題を話せる。

講義日	時限	国試出題基準
05月26日	1時限	各論-I-1-キ 必修-3-キ-b 必修-3-キ-c 必修-3-キ-a

担当者 田口 千恵子

テーマ：

予防と健康管理（フッ化物応用）

授業の一般目標：

口腔疾患の予防におけるフッ化物応用について理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) フッ化物による全身的応用法について説明できる。
- 2) フッ化物による局所応用法について説明できる。
- 3) フッ化物応用による安全性について説明できる。
- 4) フッ化物の代謝について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月27日	1時限	必修-7-ウ-a

担当者 和田 守康

テーマ：

歯科領域の再生医療のトピックス②

授業の一般目標：

再生医療の話題が提供できる

到達目標 S B O s：

- 1) 審美に考慮した医療ができる。
- 2) 生体防御を利用した象牙質再生が行える。
- 3) 再生医療の話題を話せる。

講義日	時限	国試出題基準
05月28日	1時限	必修-7-ウ-a

担当者 松江 美代子

テーマ：

歯科領域の再生医療のトピックス③

授業の一般目標：

再生歯科医療の話題が提供できる。

到達目標 S B O s：

- 1)再生歯科医療の話題を話せる。
- 2)審美に考慮した歯科医療ができる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月29日	1時限	各論-I-5-ク

担当者 川良 美佐雄

テーマ：

スポーツ歯学概論（1）

授業の一般目標：

国民の健康に対する要望に応えるために、また歯科診療の展開の一助とするために、最新のスポーツ歯科医学の知識、態度、技能を習得する。

到達目標 S B O s：

- 1)スポーツと顎口腔機能のかかわりについて説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
05月30日	1時限	各論-I-5-ク

担当者 川良 美佐雄

テーマ：

スポーツ歯学概論（2）

授業の一般目標：

国民の健康に対する要望に応えるために、また歯科診療の展開の一助とするために、最新のスポーツ歯科医学や睡眠健康科学の知識、態度、技能を習得する。

到達目標 S B O s：

- 1) スポーツにおけるマウスガードの役割を説明できる。
- 2) スポーツにおける歯科的外傷と対応を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月31日	1時限	各論-I-5-ク

担当者 鈴木 浩司

テーマ：

スポーツマウスガードの作製方法

授業の一般目標：

国民の健康に対する要望に応えるために、また歯科診療の展開の一助とするために、スポーツ時の口腔外傷予防するためにスポーツマウスガード製作の知識、態度を習得する。

到達目標 S B O s：

- 1) スポーツマウスガードの目的を説明できる。
- 2) スポーツマウスガードの種類を説明できる。
- 3) スポーツマウスガードの製作法を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
06月03日	1時限	総論-X-9-ケ

担当者 鈴木 浩司

テーマ：

スポーツ歯学アンチ・ドーピング

授業の一般目標：

国民の健康に対する要望に応えるために、また歯科診療の展開の一助とするために、最新のスポーツ歯科医学の知識、態度を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) アンチ・ドーピングを説明できる。
- 2) アンチ・ドーピングプログラムを説明できる。
- 3) ドーピング検査について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月04日	1時限	各論-V-1-ク

担当者 鈴木 浩司

テーマ：

睡眠時無呼吸症候群（1）

授業の一般目標：

国民の健康に対する要望に応えるために、また歯科診療の展開の一助とするために、睡眠健康科学の知識、態度を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 睡眠時無呼吸症候群の特徴について説明できる。
- 2) 睡眠時無呼吸症候群の治療について説明できる。
- 3) 睡眠時無呼吸症候群への歯科的対応を説明できる。
- 4) 睡眠時無呼吸症候群における医科との連携を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
06月05日	1時限	各論-V-1-ク 各論-V-9-オ

担当者 鈴木 浩司、渡邊 愛斗

テーマ：

睡眠時無呼吸症候群（2）

授業の一般目標：

国民の健康に対する要望に応えるために、また歯科診療の展開の一助とするために、睡眠健康科学の知識、態度を習得する。

到達目標 S B O s：

- 1) 睡眠時無呼吸症候群への歯科的対応を説明できる。
- 2) 睡眠時無呼吸症候群に対応するオーラルアプライアンスを説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月06日	1時限	各論-V-1-キ

担当者 飯田 崇

テーマ：

ブラキシズム

授業の一般目標：

ブラキシズムへの適切な歯科的対応を行うために、ブラキシズムの定義と病因について理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) ブラキシズムの定義について説明できる。
- 2) ブラキシズムの病因について説明できる。
- 3) ブラキシズムの顎口腔領域への影響について説明できる。
- 4) ブラキシズムへの歯科的対応について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
06月07日	1時限	総論-XI-1 1-エ

担当者 浅野 隆

テーマ：

デジタルデンティストリー

授業の一般目標：

これからの新しい歯科医療の展開のために、デジタル方式の歯科医療を理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) デジタルデンティストリーとは何か説明できる。
- 2) デジタルデンティストリーの現状を説明できる。
- 3) デジタルデンティストリーの展開と限界を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月10日	1時限	各論-II-6-イ 各論-II-6-ア 各論-II-6-ウ 各論-II-6-エ 各論-II-6-オ

担当者 荒井 清司

テーマ：

咬合誘導

授業の一般目標：

乳歯および混合歯列期に生じた歯の欠損と歯列不正に対応するために、保隙と咬合誘導を理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) 保隙の必要性を説明できる。
- 2) 保隙装置とその適応、管理について説明できる。
- 3) 咬合誘導の概念を説明できる。
- 4) 咬合誘導装置を説明できる。
- 5) 歯列不正の原因を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
06月11日	1時限	総論-V-1-エ 総論-V-1-オ 総論-V-1-カ 総論-V-1-キ

担当者 清水 邦彦

テーマ：

小児の心身発達

授業の一般目標：

小児の歯科疾患に適切に対応するために、小児の心身発達について理解する。

到達目標SBOs：

- 1)小児の身体の発達について説明できる。
- 2)小児の情動の発達について説明できる。
- 3)小児の運動機能の発達について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月12日	1時限	総論-IV-4-ア 総論-V-4-ウ

担当者 清水 邦彦

テーマ：

小児の歯・歯列の発育と特徴

授業の一般目標：

小児の歯科疾患に適切に対応するために、小児の歯・歯列の発育と特徴について理解する。

到達目標SBOs：

- 1)乳歯と永久歯の形態と特徴を説明できる。
- 2)歯の形態異常を説明できる。
- 3)歯の発育時期について説明できる。
- 4)Hellman歯齢を列記できる。
- 5)乳歯列および混合歯列の特徴を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
06月13日	1時限	各論-Ⅱ-1-ソ 各論-Ⅱ-1-フ 各論-Ⅱ-4-タ 各論-Ⅱ-4-チ 各論-Ⅱ-4-ツ

担当者 岡本 京

テーマ：

小児期の治療時に留意すべき疾患

授業の一般目標：

小児への対応を適切に行うために、小児期の治療時に留意すべき疾患について理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) 口腔症状を伴う全身疾患について説明できる。
- 2) 口腔疾患を伴う全身疾患についての治療上の注意について説明できる。
- 3) 遺伝性疾患とその顎頭蓋顔面症候について説明できる。
- 4) 感染症とその口腔症状について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月14日	1時限	必修-7-ア-e 総論-V-1-キ 総論-V-4-ア 総論-V-4-イ

担当者 五関 たけみ

テーマ：

成長発育と評価

授業の一般目標：

口腔・顎・顔面の成長発育を考慮した矯正治療を実践するために、頭蓋・顎顔面の成長パターンおよび成長発育の評価法を理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) 成長発育の評価について説明できる。
- 2) 骨年齢とその評価について説明できる。
- 3) 成長スパートの予測について説明できる。
- 4) 脳頭蓋の成長について説明できる。
- 5) 顎顔面の成長について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
06月16日	1時限	総論-X-1-ア 各論-V-6-ア 各論-VI-1 8-ア

担当者 河相 安彦

テーマ：

総義歯補綴学総論

授業の一般目標：

総義歯治療を円滑に行うために患者のプロブレムリストを作成し、適切な診査を行う知識・態度および技能を修得する。

到達目標 S B O s：

- 1) 総義歯治療の製作過程を順を追って説明できる。
- 2) 無歯顎患者のプロブレムリストを作成できる。
- 3) 総義歯における維持に関わるプロブレムの診査項目を挙げることができる。
- 4) 総義歯における支持に関わるプロブレムの診査項目を挙げることができる。
- 5) 総義歯における安定に関わるプロブレムの診査項目を挙げることができる。
- 6) プロブレムに対する適切な診断ができる。
- 7) 適切な治療計画が立案できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月17日	1時限	必修-7-イ-b 総論-V-4-イ

担当者 五関 たけみ

テーマ：

顎顔面頭蓋の成長発育

授業の一般目標：

口腔・顎・顔面の成長発育を考慮した矯正治療を実践するために、脳頭蓋と顎顔面の成長発育に影響を及ぼす因子について理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) 鼻上顎複合体の成長発育の特徴を述べることができる。
- 2) 下顎骨の成長発育の特徴を述べることができる。

講義日	時限	国試出題基準
06月18日	1時限	総論-VII-2-ウ 必修-9-イ-e 必修-14-イ-e 総論-VI-11-ア 各論-II-7-エ 各論-II-7-オ 各論-II-8-エ

担当者 五関 たけみ

テーマ：

不正咬合の特徴（上顎前突）

授業の一般目標：

上顎前突を主訴に来院した患者からの相談に適切に対応するために必要な基本的知識を習得する。

到達目標 S B O s：

- 1) 上顎前突を特徴とする先天異常を列挙できる。
- 2) 上顎前突の発現要因を説明できる。
- 3) 上顎前突の形態的特徴を列挙できる。
- 4) 上顎前突の機能的特徴を列挙できる。
- 5) 上顎前突の早期治療について説明できる。
- 6) 上顎前突の治療に用いる矯正装置とその使用目的を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月19日	1時限	総論-VII-2-ウ 必修-9-イ-e 必修-14-イ-e 総論-VI-11-ア 各論-II-7-エ 各論-II-7-オ 各論-II-8-エ 各論-II-11-ア

担当者 五関 たけみ

テーマ：

不正咬合の特徴（下顎前突）

授業の一般目標：

下顎前突を主訴に来院した患者の相談に適切に対応するために必要な基本的知識について理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) 下顎前突を特徴とする先天異常を列挙できる。
- 2) 下顎前突の発現要因を説明できる。
- 3) 機能性反対咬合の特徴を述べることができる。
- 4) 骨格性下顎前突の特徴を述べることができる。
- 5) 反対咬合の早期治療について説明できる。
- 6) 反対咬合の治療に用いる装置とその使用目的を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
06月20日	1時限	総論-I-1-オ

担当者 水野 貴誠

テーマ：

障害者への対応

授業の一般目標：

歯科診療の対象としてのスペシャルニーズがある人の存在を知り、臨床場面で患者として受け入れることができるように知識を修得する。

到達目標 S B O s：

- 1) 行動調整法について説明できる。
- 2) オリエンテーションの意義について説明できる。
- 3) Four Handed Dentistry を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月21日	1時限	総論-V-5-イ 総論-V-5-ア

担当者 三田村佐智代

テーマ：

摂食・嚥下機能の発達

授業の一般目標：

摂食・嚥下リハビリテーションに必要な摂食・嚥下機能の発達について理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) 哺乳機能について説明できる。
- 2) 離乳期の摂食・嚥下機能について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
06月24日	1時限	各論-I-6-ア 必修-3-ク-a 必修-3-ク-b 必修-3-ク-d 必修-3-ケ-a 必修-3-ケ-b 各論-I-6-イ 各論-I-6-ウ

担当者 田口 千恵子

テーマ：

予防と健康管理増進（保健指導・口腔清掃）

授業の一般目標：

口腔疾患の予防と管理における口腔清掃と保健指導について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 栄養と食生活について説明できる。
- 2) 禁煙指導について概説できる。
- 3) 生活習慣病について説明できる。
- 4) 機械的清掃法，化学的清掃法について説明できる。
- 5) プラークの形成機序・付着抑制について説明できる。
- 6) 口腔清掃の指標について説明できる。
- 7) 口腔清掃方法について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
06月25日	1時限	各論-V-1-ア

担当者 飯島 守雄

テーマ：

局部床義歯学総論

授業の一般目標：

歯列の部分欠損の特性を理解し、可徹性義歯を活用した補綴治療の臨床的意義とその方法を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 可徹性義歯の目的と意義および具備条件を説明できる。
- 2) 歯列部分欠損による障害とその病体を説明できる。
- 3) 部分床義歯の種類と適応症を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
06月26日	1時限	各論-V-6-サ

担当者 木本 統

テーマ：

総義歯装着後の管理

授業の一般目標：

総義歯装着後のトラブルを理解する

到達目標 S B O s：

- 1) 義歯装着後の痛みを説明できる。
- 2) 装着後に生じる維持不良の原因を説明できる
- 3) 装着後に生じる発音障害の原因を説明できる
- 4) 装着後に生じる審美不良の原因を説明できる

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月28日	1時限	各論-I-4-ア 必修-3-コ-a 必修-3-コ-b 各論-I-4-イ 各論-I-4-ウ

担当者 田口 千恵子

テーマ：

予防と健康管理増進（口臭）

授業の一般目標：

健康管理増進のために歯・口腔の清潔，特に口臭について理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) 口臭の分類を説明できる。
- 2) 口臭の原因を説明できる。
- 3) 口臭の測定方法について説明できる。
- 4) 口臭の予防について説明できる。
- 5) 器質的口腔ケアについて説明できる。
- 6) 機能的口腔ケアについて説明できる。
- 7) 口腔疾患の疫学的指標を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
06月30日	1時限	必修-2-ウ-e

担当者 有川 量崇

テーマ：

保健・医療・福祉・介護関係法規

授業の一般目標：

歯科医師として必要な法・制度を学び、医療人として社会における役割と責任について理解し、修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 医療法を概説できる。
- 2) 保健・医療制度を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
07月01日	1時限	各論-V-10-カ 各論-V-10-キ

担当者 大久保 昌和

テーマ：

局部床義歯装着後の管理

授業の一般目標：

局部床義歯装着後に起こる様々な合併症を解決するために、それらの原因と対応について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 局部床義歯装着後に起こる合併症について説明できる。
- 2) 局部床義歯装着後に起こる合併症の原因について説明できる。
- 3) 局部床義歯装着後に起こる合併症への対応について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
07月02日	1時限	必修-15-へ-a

担当者 野本 たかと

テーマ：

摂食・嚥下リハビリテーション

授業の一般目標：

摂食・嚥下リハビリテーションを理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 嚥下のメカニズムを述べられる。
- 2) 摂食・嚥下障害について述べられる。
- 3) 疾患と嚥下障害との関連を述べられる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
07月03日	1時限	総論-IX-1-コ 総論-IX-1-ケ 総論-IX-1-コ 総論-IX-1-セ

担当者 浅野 隆

テーマ：

下顎運動と口腔機能検査

授業の一般目標：

補綴治療の際に必要な下顎運動および口腔機能検査の準備と診療介助ができるようになるために、使用する器材と目的を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 咬合検査の方法と目的を説明できる。
- 2) 下顎運動検査の方法と目的を説明できる。
- 3) 筋機能検査の方法と目的を説明できる。
- 4) 模型を用いた検査の方法と目的を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
07月04日	1時限	総論-IV-3-ア 総論-IV-3-イ 総論-IV-3-ウ

担当者 小見山 道

テーマ：

咀嚼の生理学・痛みの生理学と咀嚼系の機能障害

授業の一般目標：

適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために、補綴学の顎機能に関する知識・技能および態度を修得する。

到達目標 S B O s：

- 1) 下顎運動および咬合に関わる基本的用語を挙げ、説明できる。
- 2) 下顎運動の基準となる基準点、基準面を分類し、説明できる。
- 3) 下顎位の名称を挙げ説明できる。
- 4) 下顎の限界運動について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
07月05日	1時限	各論-VI-1 4-ア

担当者 飯田 崇

テーマ：

高齢者の歯科治療

授業の一般目標：

適切な高齢者の口腔管理を行うために、高齢者への歯科治療、口腔管理方法、摂食・嚥下障害への対応について理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) 高齢者の歯科治療について説明できる。
- 2) 高齢者の口腔管理について説明できる。
- 3) 高齢者における摂食・嚥下障害の原因について説明できる。
- 4) 高齢者の栄養管理について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
07月08日	1時限	必修-6-ウ-c 総論-IV-4-ア 総論-IV-4-イ 総論-IV-4-ウ 総論-IV-4-エ 総論-IV-4-オ

担当者 平山 聡司

テーマ：

歯の正常機能と構造

授業の一般目標：

適切な硬組織欠損の修復処置が行えるようになるために、歯のエナメル質、象牙質・歯髄複合体およびセメント質の正常構造と機能を理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) エナメル質の構造を説明できる。
- 2) 象牙質・歯髄複合体の構造を説明できる。
- 3) セメント質の構造を説明できる。
- 4) 歯の形態的特徴について説明できる。
- 5) 歯式の表記法について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
07月09日	1時限	総論-VI-6-イ 総論-VI-6-イ 総論-VI-6-ウ 各論-III-2-ア 各論-III-2-イ

担当者 鈴木 英明

テーマ：

唾液・常在微生物叢・バイオフィルム

授業の一般目標：

齲蝕ならびに硬組織疾患を理解するために、唾液、口腔の常在微生物叢ならびにバイオフィルムについて学習する。

到達目標 S B O s：

- 1) 口腔の常在微生物叢について説明できる。
- 2) バイオフィルムについて説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
07月10日	1時限	各論-Ⅲ-2-ア 総論-Ⅸ-1-ア 各論-Ⅲ-2-ア 各論-Ⅲ-2-ウ 各論-Ⅲ-2-エ

担当者 鈴木 英明

テーマ：

歯の硬組織疾患の病因・病態と主要症候および検査

授業の一般目標：

齲蝕ならびに硬組織疾患を理解するために、病因・病態、主要症候ならびにそれらの検査法について学習する。

到達目標 S B O s：

- 1) 歯の硬組織疾患の病因・病態を説明できる。
- 2) 歯の硬組織疾患の主要症候を説明できる。
- 3) 歯の硬組織疾患の検査法を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
07月11日	1時限	各論-Ⅲ-3-イ 各論-Ⅲ-3-イ 各論-Ⅲ-3-エ 各論-Ⅲ-3-オ 各論-Ⅲ-3-カ

担当者 岡田 珠美

テーマ：

診療用器具と成形修復材料

授業の一般目標：

保存修復学の基本の一つである成形修復中の特にコンポジットレジンおよびグラスアイオノマーセメント修復に用いる器具・器材、材料の成分・特徴、手順および不快事項について説明できる。

到達目標 S B O s：

- 1) 1) 成形修復の窩洞の特徴について説明できる。
- 2) 2) 成形修復で使用する器具・器材について説明できる。
- 3) 3) 成形修復材料の特徴について説明できる。
- 4) 4) 成形修復材料の成分とその意義について説明できる。
- 5) 5) 成形修復材料の手順について説明できる。
- 6) 6) 成形修復材料の仕上げ研磨の目的・時期・方法について説明できる。
- 7) 7) 成形修復の不快事項について説明できる。
- 8) 8) コンポジットレジンとグラスアイオノマー修復の違いについて説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
07月12日	1時限	各論-V-4-ウ 各論-V-4-ウ 各論-V-4-エ 各論-V-4-オ 各論-V-4-カ 各論-V-4-ク 各論-V-4-セ 各論-V-4-ソ

担当者 小林 平

テーマ：

診療用器具と成形修復材料

授業の一般目標：

適切な補綴治療を行うために歯冠補綴治療に用いられる診療用器具と、補綴修復材料の特徴について学ぶ。

到達目標 S B O s：

- 1) 各種切削器具の特徴を説明できる。
- 2) 各種印象材の特徴について説明できる。
- 3) 歯科用鑄造金属の種類を説明できる。
- 4) 熱処理について説明できる。
- 5) 歯科用オールセラミックの種類を説明できる。
- 6) ジルコニアの特徴および応用方法を説明できる。
- 7) CAD/CAMについて説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
07月14日	1時限	総論-XI-1 4-ア 総論-XI-1 3-ア 総論-XI-1 3-イ 総論-XI-1 3-ウ 総論-XI-1 3-エ 総論-XI-1 4-イ 総論-XI-1 4-ウ 総論-XI-1 4-エ

担当者 會田 雅啓

テーマ：

歯科接着技術と接着材料

授業の一般目標：

歯冠修復物は支台歯と一体化することで審美性や機能を回復・維持することができる。そのための材料と術式を理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) 歯科用セメントの種類と性質を述べることができる。
- 2) 歯科用セメントの使用法を説明できる。
- 3) 歯科用レジンセメントと歯質または修復材料との接着理論と技法を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
07月15日	1時限	各論-Ⅲ-3-イ 各論-Ⅲ-2-ウ

担当者 神谷 直孝

テーマ：

象牙質知覚過敏、Tooth Wear、および食片圧入を主訴とする患者への保存的対応

授業の一般目標：

冷水やブラッシングによる誘発痛や、硬組織疾患による歯質の滅失を原因とする食片圧入を主訴とする患者に適切に対応できるようになるために、齲蝕、象牙質知覚過敏、ならびにTooth Wearの臨床症状と診断および処置方針について理解する。

到達目標 SBOs：

- 1) う蝕の症状と診断を説明できる。
- 2) 象牙質知覚過敏症の病因、病態、診断および治療法を説明できる。
- 3) 象牙質知覚過敏のメカニズムについて説明できる。
- 4) Tooth Wearの病因、病態、診断および治療法を説明できる。
- 5) 食片圧入の症状、原因、処置方針について説明できる。
- 6) 歯質欠損に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
07月16日	1時限	各論-V-10-ウ 各論-V-4-ス 各論-V-4-セ 各論-V-4-ソ

担当者 小林 平

テーマ：

歯の審美障害1

授業の一般目標：

歯冠補綴処置における形態や色調の不調和を改善するために、審美障害の原因とその治療法を学ぶ。

到達目標 SBOs：

- 1) 歯冠補綴装置のマージン不適合による審美障害を説明できる。
- 2) 歯冠補綴装置の前装材料の劣化による審美障害を説明できる。
- 3) メラニン色素の沈着による歯肉の変色を理解し対処方法を説明できる。
- 4) 矯正的な補綴前処置の方法を説明できる。
- 5) ブラックトライアングルの原因と対処方法について説明できる。
- 6) ラミネートベニアの適応症と術式を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
07月17日	1時限	各論-Ⅲ-2-オ 各論-Ⅲ-3-キ

担当者 神谷 直孝

テーマ：

歯の審美障害への保存的対応

授業の一般目標：

歯の審美障害を主訴とする患者に適切に対応できるようになるために、変色歯・形態不全歯や歯冠破折の診断、処置方針について理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) 歯の審美障害を引き起こす疾患について説明できる。
- 2) 歯の変色の原因、診断、処置方針について説明できる。
- 3) 歯の形態不全の原因、診断、処置方針について説明できる。
- 4) 歯冠破折の処置方針について説明できる。
- 5) コンポジットレジン修復後に審美障害を引き起こす原因と処置方針について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
07月18日	1時限	各論-V-10-カ

担当者 小林 平

テーマ：

歯の審美障害2

授業の一般目標：

「冠や支台の脱離」という主訴を解決するために、脱離の原因について理解し歯の保存の診査診断および対処方法について学ぶ。

到達目標 S B O s：

- 1) フェールエフェクトについて説明できる。
- 2) クラウンレンジングについて説明できる。
- 3) 支台築造の方法を説明できる。
- 4) 直接支台築造の適応症を説明できる。
- 5) 間接支台築造の適応症を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
07月19日	1時限	各論-V-1 0-カ 各論-V-2-イ 各論-V-2-ウ

担当者 後藤 治彦

テーマ：

歯冠補綴装置の脱離 2

授業の一般目標：

「冠や支台装置の脱離」という主訴を解決するため、脱離の原因について理解し歯の保存の診査診断および対処法について学ぶ。

到達目標 S B O s：

- 1) 歯根破折の原因を説明できる。
- 2) 歯の保存の条件について説明できる。
- 3) ブリッジの設計について説明できる。
- 4) 支台歯の負担能力について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
08月20日	1時限	総論-VI-1 1-イ 総論-VI-1 1-オ

担当者 宇都宮 忠彦

テーマ：

炎症の病理組織学

授業の一般目標：

歯髄、歯周組織及び顎骨の炎症性疾患を正しく診断・治療するために、炎症の病理組織学的知識や組織特性について学習する。

到達目標 S B O s：

- 1) 炎症の病因について解説できる。
- 2) 炎症の成り立ちと徴候について病理組織学的に説明できる。
- 3) 炎症の病理組織学的分類について解説できる。
- 4) 歯髄組織及び根尖歯周組織の炎症性変化について説明できる。
- 5) 辺縁歯周組織の炎症性変化について解説できる。
- 6) 顎骨の炎症性変化について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
08月21日	1時限	各論-Ⅲ-5-イ 各論-Ⅲ-5-ウ

担当者 辻本 恭久

テーマ：

歯髄炎・根尖性歯周炎の分類・診断

授業の一般目標：

誘発痛や自発痛を主訴とする患者に対し、歯髄炎・根尖性歯周炎の診断および処置方針の決定ができるようになるために、臨床症状をもとに歯髄炎・根尖性歯周炎の特徴を理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) 歯髄炎・根尖性歯周炎の原因を説明できる。
- 2) 歯髄炎・根尖性歯周炎の進行の特徴を説明できる。
- 3) 可逆性歯髄炎、不可逆性歯髄炎の特徴を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
08月22日	1時限	各論-Ⅲ-8-イ

担当者 高井 英樹

テーマ：

歯周疾患（主に歯肉炎・歯周炎）の分類・診断

授業の一般目標：

歯周疾患を正確に診断・治療するために、歯周組織の構造、歯周疾患の診査法および治療法について学習する。

到達目標 S B O s：

- 1) 正常歯周組織を理解する。
- 2) 歯周病の原因と、進行機序を理解する。
- 3) 歯周病の診査法を理解する。
- 4) 歯周基本治療の内容を理解する。

講義日	時限	国試出題基準
08月25日	1時限	各論-IV-9-オ 各論-IV-9-ア 各論-IV-9-イ 各論-IV-9-ウ 各論-IV-9-エ

担当者 伊藤 耕

テーマ：

骨髓炎①

授業の一般目標：

骨髓炎の患者に対応できるようになるために、顎骨に生じる骨髓炎の分類・診断について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 骨髓炎の分類を説明できる。
- 2) 骨髓炎を診断し、説明することができる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
08月26日	1時限	各論-III-9-エ

担当者 高井 英樹

テーマ：

歯周疾患（主に歯肉炎・歯周炎）の分類・診断

授業の一般目標：

歯周病の治療法を理解するために、歯周外科手術及び治療後の治癒機転・予後について学習する。

到達目標SBOs：

- 1) 歯周外科治療について理解する。
- 2) メインテナンスとSPTについて理解する。

講義日	時限	国試出題基準
08月27日	1時限	各論-Ⅲ-6-エ 各論-Ⅲ-6-ウ

担当者 辻本 恭久

テーマ：

歯髄炎・根尖性歯周炎の治療の基礎

授業の一般目標：

歯髄・根尖歯周組織疾患を適切に治療できるようになるために、症状、診断、治療法ならびにその治癒機転・予後について学習する。

到達目標 S B O s：

- 1) 急性歯髄炎・慢性歯髄炎における治療法を説明できる。
- 2) 急性根尖性歯周炎，慢性根尖性歯周炎の治療法を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
08月28日	1時限	各論-Ⅳ-9-オ 各論-Ⅳ-9-キ 各論-Ⅳ-9-ク 各論-Ⅳ-9-ケ 各論-Ⅳ-9-コ 各論-Ⅳ-9-サ

担当者 伊藤 耕

テーマ：

骨髓炎②

授業の一般目標：

骨髓炎の患者に対応できるようになるために、顎骨に生じる骨髓炎の病期・症状と治療の基礎について理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) 骨髓炎の病期を説明できる。
- 2) 骨髓炎の症状を説明できる。
- 3) 骨髓炎の治療法を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
08月29日	1時限	各論-IV-8-エ 各論-IV-8-ア 各論-IV-8-イ 各論-IV-8-ウ 各論-IV-8-オ 各論-IV-8-カ 各論-IV-8-キ 各論-IV-8-ク

担当者 伊藤 耕

テーマ：

骨髄炎③

授業の一般目標：

骨折の患者に対応できるようになるために、顎顔面領域に生じる骨折の種類、原因、症状、検査法、診断、治療法について理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) 骨折の分類を説明できる。
- 2) 骨折の症状を説明できる。
- 3) 骨折の検査法を説明できる。
- 4) 骨折の治療法を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
09月02日	1時限	各論-IV-10-ア 各論-IV-4-ウ 各論-IV-4-エ 各論-IV-4-オ 各論-IV-4-カ 各論-IV-4-キ 各論-IV-10-イ 各論-IV-10-ウ

担当者 宇都宮 忠彦

テーマ：

嚢胞性疾患①

授業の一般目標：

顎口腔領域に発生する嚢胞の分類、特徴および治療について説明できるようになるために知識を習得する。

到達目標 S B O s：

- 1) 嚢胞を分類できる。
- 2) 顎骨に発生する嚢胞を列挙し、その病理組織学的特徴について説明できる。
- 3) 軟組織に発生する嚢胞を列挙し、その病理組織学的特徴について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
09月03日	1時限	各論-IV-10-ウ 各論-IV-10-ア 各論-IV-10-イ 各論-IV-10-エ 各論-IV-10-カ 各論-IV-10-キ 各論-IV-10-ク 各論-IV-10-コ

担当者 西村 均

テーマ：

嚢胞性疾患②

授業の一般目標：

口腔顎顔面領域に発生する嚢胞を説明のできるようになるために、学習する。

到達目標 S B O s：

- 1) 顎骨嚢胞の種類を列記できる。
- 2) 顎骨歯源性嚢胞の種類を列挙できる。
- 3) 顎骨歯源性嚢胞の診断ができる。
- 4) 顎骨嚢胞の治療法を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
09月04日	1時限	各論-IV-10-カ 各論-IV-10-ア 各論-IV-10-イ 各論-IV-10-ウ 各論-IV-10-エ 各論-IV-10-オ 各論-IV-10-キ 各論-IV-10-ク

担当者 西村 均

テーマ：

嚢胞性疾患③

授業の一般目標：

顎口腔領域に発生する嚢胞の分類、特徴および治療について説明のできるようになるために知識を習得する。

到達目標 S B O s：

- 1) 顎骨嚢胞の種類を列挙できる。
- 2) 顎骨に発生する非歯源性嚢胞を説明できる。
- 3) 顎骨の非歯源性嚢胞の診断ができる。
- 4) 顎骨嚢胞の治療法を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
09月05日	1時限	各論-IV-4-ウ 各論-IV-4-ア 各論-IV-4-イ 各論-IV-4-エ 各論-IV-4-オ 各論-IV-4-カ 各論-IV-4-キ 各論-IV-4-ク

担当者 西村 均

テーマ：

嚢胞性疾患④

授業の一般目標：

顎口腔領域に発生する嚢胞の分類、特徴および治療について説明できるようになるために知識を習得する。

到達目標 S B O s：

- 1) 軟組織に発生する嚢胞を列挙できる。
- 2) 軟組織嚢胞を診断できる。
- 3) 軟組織嚢胞の治療法を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
09月06日	1時限	各論-IV-11-ア 各論-IV-11-イ 各論-IV-11-ウ 各論-IV-11-エ 各論-IV-11-オ 各論-IV-11-カ 各論-IV-11-キ 各論-IV-11-ク

担当者 久山 佳代、末光 正昌

テーマ：

腫瘍①

授業の一般目標：

顎口腔領域に発生する腫瘍の分類、特徴および治療について説明できるようになるために知識を習得する。

到達目標 S B O s：

- 1) 良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを説明できる。
- 2) 上皮性腫瘍と非上皮性腫瘍を列挙できる。
- 3) 歯源性腫瘍を分類できる。
- 4) 非歯源性腫瘍を分類できる。
- 5) 唾液腺腫瘍を分類できる。

講義日	時限	国試出題基準
09月08日	1時限	総論-I-2-ウ 総論-I-6-ア 総論-I-6-イ 総論-I-3-ウ 総論-I-3-エ 総論-I-3-カ

担当者 有川 量崇

テーマ：

社会保障制度

授業の一般目標：

歯科医師として必要な法・制度を学び、医療人として社会における役割と責任について理解し、修得することができる。

到達目標SBOs：

- 1) 保健・医療制度を説明できる。
- 2) 介護保険制度を説明できる。
- 3) 社会福祉制度を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
09月09日	1時限	総論-I-6-イ

担当者 有川 量崇

テーマ：

医療保険制度

授業の一般目標：

歯科医師として必要な法・制度を学び、医療人として社会における役割と責任について理解し、修得することができる。

到達目標SBOs：

- 1) 保健・医療制度を説明できる。
- 2) 医療保険制度を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
09月10日	1時限	各論-IV-1 1-ア 各論-IV-1 1-イ 各論-IV-1 1-ウ 各論-IV-1 1-エ 各論-IV-1 1-オ 各論-IV-1 1-カ 各論-IV-1 1-キ 各論-IV-1 1-ク

担当者 伊藤 耕

テーマ：

腫瘍②

授業の一般目標：

顎口腔領域に発生する腫瘍の分類、特徴および治療について説明できるようになるために知識を習得する。

到達目標 S B O s：

- 1) 歯源性腫瘍の分類ができる。
- 2) 歯源性腫瘍について説明できる。
- 3) 歯源性腫瘍の診断ができる。
- 4) 歯源性腫瘍の治療法を説明できる。
- 5) エナメル上皮腫について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
09月11日	1時限	各論-IV-1 1-ウ 各論-IV-1 1-エ 各論-IV-1 1-オ 各論-IV-1 1-コ-a

担当者 伊藤 耕

テーマ：

腫瘍③

授業の一般目標：

顎口腔領域に発生する腫瘍の分類、特徴および治療について説明できるようになるために知識を習得する。

到達目標 S B O s：

- 1) 非歯源性腫瘍の分類ができる。
- 2) 非歯源性腫瘍について説明できる。
- 3) 非歯源性腫瘍の診断ができる。
- 4) 非歯源性腫瘍の治療法を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準				
09月12日	1時限	各論-IV-5-エ 各論-IV-5-カ	各論-IV-5-イ 各論-IV-5-キ	各論-IV-5-ア 各論-IV-5-ク	各論-IV-5-ウ	各論-IV-5-オ

担当者 伊藤 耕

テーマ：

腫瘍④

授業の一般目標：

顎口腔領域に発生する腫瘍の分類、特徴および治療について説明できるようになるために知識を習得する。

到達目標 S B O s：

- 1) 顎骨腫瘍の治療法が説明できる。
- 2) エナメル上皮腫の治療法が説明できる。
- 3) 軟組織腫瘍の治療法が説明できる。
- 4) エプーリスの治療法が説明できる。

=====

学生番号 _____ (院内番号) _____

氏 名 _____